

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 18日

事業所名 オープンカフェ

|          |   | チェック項目   | はい | いいえ                | 工夫している点                          | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標     |
|----------|---|--|----|--------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 環境・体制整備  | 1   | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | ○  |                    | パーティションなどで区切るなど工夫をしている           | 個室、半個室を作り、適切に指導訓練スペースを用意した。  |
|          | 2   | 職員の配置数は適切である   | ○  |                    | 利用者3:スタッフ2                       | 利用者3名に対して2名職員が配置されるように工夫している |
|          | 3   | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | ○  |                    |                                  |                              |
| 業務改善     | 4   | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | ○  |                    | 会議で共有している                        |                              |
|          | 5   | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | ○  |                    | 評価表だけではなく、面談時に意見などを頂いている         |                              |
|          | 6   | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | ○  |                    | 必須の公開書類だけではなく、事業所で独自に分析した        |                              |
|          | 7   | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             |    | ○                  |                                  | 今後行うことを検討                    |
| 適切な支援の提供 | 8   | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | ○  |                    | 定期的に研修を行っている                     |                              |
|          | 9   | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○  |                    | 日々の記録を行いアセスメントを行いやすくしている。        |                              |
|          | 10  | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                 | ○  |                    | 多様な教材を購入使用している。                  |                              |
|          | 11  | 活動プログラムの立案をチームで行っている                                       | ○  |                    | 会議で支援プログラムをブラッシュアップ              |                              |
|          | 12  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                     | ○  |                    | 会議で検討会                           |                              |
|          | 13  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                         | ○  |                    | 平日、休日、長期休暇によって支援プログラム、課題を設定している。 |                              |
|          | 14  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している            | ○  |                    | 発達状況に合わせて行っている                   |                              |
|          | 15  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している             | ○  |                    | 開始前の共有会議                         |                              |
|          | 16  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している        | ○  |                    | 終了後の総括会議                         |                              |
| 17       | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | ○  |    | 毎日記録を活動日誌に記録している   |                                  |                              |
| 18       | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○  |    | 3か月に一回モニタリングを行っている |                                  |                              |
| 19       | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている         | ○  |    |                    |                                  |                              |

|              |    |   |   |   |                                      |                |
|--------------|----|---|---|---|--------------------------------------|----------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | ○ |   | サービス担当者会議を適切な者が行っている。                |                |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ |   | 年間計画、行事予定のコピー、下校時間の案内などを定期的に情報交換している |                |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             |   | ○ |                                      | 対象者が利用される場合に対応 |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | ○ |   | 会議などで情報交換を行っている                      |                |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | ○ |   | 就労先などに情報を提出している                      |                |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | ○ |   | レピラなどの研修に参加している。                     |                |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 | ○ |   | 保育園などに遊具を貸すなどしている。                   |                |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している   |   | ○ |                                      | 今後参加を検討する。     |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                        | ○ |   | ラインや連絡帳などで保護者と共有                     |                |
| 保護者への説明責任等   | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                       | ○ |   | 資料などを提供                              |                |
|              | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                      | ○ |   | 面談時に不定期に説明をしている                      |                |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                              | ○ |   | ライン等を用いて、日々の様子などを共有                  |                |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                          |   | ○ |                                      | 今後検討する。        |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している    | ○ |   | 臨機応変に対応をしている。                        |                |
|              | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                      | ○ |   | 毎月お便りを発行している。                        |                |
|              | 35 | 個人情報に十分注意している   | ○ |   | 鍵付き書庫、スタッフに同意書。                      |                |
|              | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                                  | ○ |   | 視覚支援、聴覚支援などを使い思いを伝えられるように配慮している      |                |
|              | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている                                    | ○ |   | 東大阪国際交流フェスタに出店                       |                |

|         |    |  |   |  |                   |  |
|---------|----|--|---|--|-------------------|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | ○ |  | 年間計画で行っている        |  |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | ○ |  | 年間計画で行っている、       |  |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | ○ |  | 年間計画で行っている。       |  |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ |  |                   |  |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | ○ |  |                   |  |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | ○ |  | 作っている。保護者とも共有している |  |